

まち・ひと・しごと創生総合戦略 推進事業KPI評価結果

基本目標 1 東日本大震災からの復興まちづくりを完結させる

No.	重要業績評価指標 (KPI)	R2実績	委員評価			委員質問・指摘事項等	質問・指摘事項に対する回答・対応
			実績評価	改善点 工夫点	総合評価		
1	新市街地整備事業完成度	100%					
2	防災集団移転促進事業完成度	100%					
3	土地区画整理事業完成度 既成市街地 住居系	100%	99%	○ ○	B	①湊地区については、大きく様変わりして便利になってきていると感じるが、人が戻るのか。	①湊地区の土地区画整理事業につきましては、湊北地区は令和元年度に工事完了、令和2年度に換地処分完了、湊東地区は令和2年度に工事完了、令和3年度に換地処分予定としており、事業完了目前となっております。人が戻るかとの質問でございますが、土地区画整理事業としましては、土地所有者へ土地（換地）をお返しして事業完了となります。今後の土地所有者の再建及び利活用の促進につきましては、これまでの支援策に加え市として可能な施策の検討が必要かと考えます。
4	復興公営住宅完成度	100%					
5	市街地再開発事業完成度	100%					

重要業績評価指標(KPI)毎の委員評価等一覧

No.	重要業績評価指標 (KPI)	R2実績	委員評価			委員質問・指摘事項等	質問・指摘事項に対する回答・対応
			実績評価	改善点 工夫点	総合評価		
6	観光交流施設の 来場者数	1,277,089人/年 1,083,655人/年	○	○	B	<p>①観光交流施設であるが、同じ分野の利用者数が、分けてシートに記載されているが、何か理由があるのか。いしのまき元気いちば、かわまち交流センター、石ノ森萬画館、一緒にしても良いのでは。</p> <p>②令和3年度を取組で、「本広場は朝市などのイベント会場での活用を予定しており」とあるが、この「朝市など」の「など」は、何を指しているのか。</p> <p>③朝市が駅前に移ると新聞で見たが、この数字は駅前に移ったあとも含めた数字なのか。</p> <p>④橋ができたことで、大型バスがアイトピア通りに入れないということを知った。規制について把握していないバス会社もあった。その周知についてと、この取組は規制を考慮した上でのものなのか。</p> <p>⑤来場者の増加のためには集客イベントの多用、市民参加型のイベントの多用が必要と思うが、いかがか。</p> <p>⑥市民や観光客等の「憩いの場」に対するターゲットを、若者や高齢者、外国人などに分類するとイベントの焦点化が図られるのでは。</p> <p>⑦市民へのアピール不足を感じるが、今後のアピール方法等、どう考えているのか。</p> <p>⑧実績の人数の中に駐車場利用者数やバスの利用者の人数を別々合算しているとは思わないが、施設ごとの人数を示したうえで総合計として表示していただきたい。</p> <p>○かわまち駐車場が2時間無料はとても良い。元気いちばでの買物も、近くのスーパーとは言えないが、遠くの知人に何かという時にすごく便利である。</p> <p>○コロナ禍で観光事業は非常に厳しい現状の中、頑張っていると感心している。</p>	<p>①第2期中心市街地活性化基本計画の流れで、いしのまき元気いちばとかかわまち交流センターは一つの括りでかわまちエリア、石ノ森萬画館は観光施設ということで分けております。</p> <p>②現在整備中のかかわまち交流広場では朝市だけではなく各種イベントが開催できます。また、広場だけではなく堤防を活用したイベントも考えられます。一つ一つ挙げれば良かったのですが、「朝市など」とまとめさせていただきました。</p> <p>③数字はかわまち交流広場でのものであり、そこで開催されるイベント全般を含めたものであるため、朝市に限ったものではありません。</p> <p>④交通規制については、課題として捉えております。目標については、規制も考えた上でのものとなっていて、その部分が解消されると、さらに交流人口の増加につながると考えております。道路については産業部だけで解決できるものではないので、警察や道路管理者である建設部や県などと広く検討していきたいと考えております。</p> <p>⑤集客の増加はイベントによる影響が大きいと考えており、また、市民参加型のイベントによって、新規の固定客の獲得や口コミによる周知が図られると考えるため、検討させていただきたいと思っております。 なお、元気いちばでは、季節に合わせたイベント・セールを多く開催しております。</p> <p>⑥今後の取り組みの参考とさせていただきます。</p> <p>⑦市・県が発行する広報誌や情報誌に施設の情報を掲載していただくことはあるが、各施設で行われている事業やイベントなどを掲載する機会が少ないと感じております。指定管理者である(一社)石巻観光協会と連携しながら周知に努めてまいります。</p> <p>⑧令和2年度の来場者数は元気いちばが「1,037,203人」、かわまち交流センターが「46,452人」で合計が「1,083,655人」となっております。</p>
7	中心市街地における社会増減数 (R元年度～R2年度)	-20人 54人	○	○	B	<p>①地域住民と新規住民の交流が活発化するような誘導が必要かと思うが、どのように考えるか。</p> <p>○今からは大きな会社より何でも屋みたいな方が流行すると思うので、みんなで知恵を出しあって軌道に乗るまで見守る方法があったら良いと思う。</p>	<p>①多様な分野が多く存在する中心市街地においては、コミュニティを醸成する町内会、地域包括支援センター、社会福祉協議会等が主体となって、コミュニティマネジメントを図ることが重要である。例えば、避難訓練、賑わい創出イベント等を通して、お互いに声を掛け合える関係性を築き、子どもから年配者まで地域で見守る関係づくりが今後必要であると考えております。 また、石ノ森萬画館やいしのまき元気いちば等の集客施設を核に、飲食店や歴史文化を巡る市民交流人口の増加を図るとともに、社会的市民的活動を行う団体の活動を活性化し、市民交流の機会を増やし賑わいを生み出していきたいと思っております。</p>

重要業績評価指標(KPI)毎の委員評価等一覧

No.	重要業績評価指標 (KPI)	R2実績		委員評価			委員質問・指摘事項等	質問・指摘事項に対する回答・対応
		実績評価	改善点 工夫点	総合評価				
8	施設（萬画館及び観光交流施設）利用者数	1,481,558人	1,148,526人	○	○	B	<p>①これまで以上にイベントの開催を充実させることが必要であると思うが、いかがか。</p> <p>○みんながワクチンを接種して少しでも安心できれば、イベントも企画され、利用者数も増えると思うので期待したい。</p> <p>○コロナ禍で観光事業は非常に厳しい現状の中、頑張っていると感心している。</p> <p>○担当者評価はCであるが、この苦しいコロナ禍でこれだけの利用者数は評価して良いと思う。</p>	<p>①新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら可能な範囲でイベントを開催するとともに、収束後には様々なイベントを開催してまいります。</p>
9	中心市街地歩行者等通行者数	18,769人	14,835人	○	○	B	<p>①令和3年度取組で、「観光施設や飲食店等と連携し」とあるが、周辺は住吉公園等だいが改善され、つり客も増えてきている。制約は有るのかもしれないが、さらに交流を図るという観点でいくと、若い人だけではなく、歴史的なものや史跡等から熟年層をターゲットとした部分を考慮してはいかがか。また、みちのく潮風トレイルを新たな石巻の展開とするとか、そういったことは考えないのか。</p> <p>②中心市街地の定義が、今の立町・中央地区で良いのか疑問。少なくとも若い世代はそう思っていないと思う。内海橋の新設により、立町の道路が通り道になりつつあるのでは。</p> <p>③マンガロード新名物創出事業の具体案が見えない。むしろマンガロードの広域化を図るなど新しいマンガロードを創り出してはどうか。一つは、石ノ森先生の生まれた中田町との連携、潮風トレイルとの組み合わせなど。</p> <p>④中心市街地をもっと緑化し、歩いていて気持ちが良いと感じる場、歩きたくなくなるような景観づくりもあつたら良いのではないか。空き店舗が増えた商店街を緑化しただけで通行量が増えた事例もある。</p> <p>○コロナ禍で観光事業は非常に厳しい現状の中、頑張っていると感心している。</p>	<p>①観光施設や飲食店等との連携というところでは、今年の3月に配信された地方創生RPGアプリを活用し、実際にお店に行って買い物をし、クーポンを見せると各店舗から特典を受けられたりと、ゲームを楽しみながら中心市街地をまわっていただきます。市内全体にというところでは、ゲームの舞台を市内全域に広げ、市内の観光スポットをいれております。もう少し広げたいと考えており、コロナ収束後に手を挙げた店舗等と連携できるよう準備を進めております。</p> <p>②中心市街地の活性化に関する法律では中心市街地を都市活動の確保や経済活力の維持に支障が生じる市街地として挙げています。立町・中央地区は過去と比べ賑わいや経済が衰退しており、中心市街地活性化基本計画では、中心市街地を活性化させることで、蛇田地区等ロードサイドショップが多く集積する地域にはない、人々が歴史や文化、観光を楽しむことができ、賑わいが生まれる場所とするべく事業を進めております。</p> <p>③委員の意見のとおりマンガロードの広域連携等は知名度向上や新たに集客する手段として有用であると考えため、今後の事業計画や企画立案の参考とさせていただきます。</p> <p>④街なかの緑化を増やすことについては事業推進の参考とさせていただきたいと思えます。歩行者空間の整備に関しては、（仮称）北広場をはじめとした川沿いエリアを中心に都市再生推進法人や関係機関と連携した計画をもとに事業を進めてまいります。</p>
10	半島部における拠点エリア整備事業完成率	100%	100%	○	○	B	<p>○整備は終わっても、それを如何に活かすか！が大切だと思うので、これからに期待している。</p>	

重要業績評価指標(KPI)毎の委員評価等一覧

No.	重要業績評価指標 (KPI)	R2実績	委員評価			委員質問・指摘事項等	質問・指摘事項に対する回答・対応	
			実績評価	改善点 工夫点	総合評価			
11	市民バス等によるネットワーク充足率	100%	100%	○	○	B	<p>①石巻南浜震災復興祈念公園がオープンしたが、電車で来た方が南浜に行く周遊のバスは運行しているのか。</p> <p>②ルートマップの立看板等により周知の徹底を図り、便数を増やすことが必要と考えるが、いかがか。</p> <p>③向陽町の人たちが、バスの本数が減ってしまい、病院に行く時は利用しても帰りのバスがなくタクシーで帰るようになったと言っていた。大きなバスでなくても良いので、本数を増やすことはできるのか。</p> <p>④交通弱者の対策を実施してほしい。現在の蛇田地区の路線バスは経由地が多く石巻駅前に出るのに時間がかかりすぎる。また、あゆみ野駅は停車する電車が少なすぎる。改善を望む。蛇田西部地区にもあゆみ野駅を中心とした住民バスを運行してもよいのではないかと考えるが、いかがか。</p>	<p>①山下・門脇線という名称で、現在6便運行しており、公園のオープンにあたって2便増やしております。駅から山下方面、南浜、元気いちばを通る一方向周りのルートであります。</p> <p>②運行経路の立看板等による周知は公共交通の利便性向上につながる重要な課題と捉えていることから、運行事業者等と調整を行いつつ、設置を検討してまいります。</p> <p>③④交通不便地域は当該地域以外にも市内に点在していると考えており、石巻市総合交通戦略の改定に際し実施する、市民アンケート調査や地域特性と公共交通サービスの現状整理等により対象地域の洗い出しを行った上で増便や新たな住民バスの運行等の具体施策の実行に着手してまいります。</p>
12	津波防災拠点整備事業完成度	100%	/	/	/	/	/	
13	海岸保全施設整備事業完成度	51%	41%	×	○	C	<p>①早期完成を願うが、どのような計画でいるか。</p> <p>②スピードアップをお願いしたいが、いかがか。</p>	<p>①②海岸保全施設整備事業のうち本体工事は完了し、現在、水門及び陸閘の遠隔自動化を進めており、8月末より14漁港30施設中11漁港25施設で運用開始を予定しており、残りの3漁港(5施設)に関しては2月末の運用開始を予定しております。なお、海岸保全施設整備事業と関連の深い災害復旧事業も今年度内の完成を予定しております。</p>
14	防災緑地整備事業完成度	100%	94.8%	○	○	B	<p>○市民の協力を得る努力が必要。</p>	

重要業績評価指標(KPI)毎の委員評価等一覧

No.	重要業績評価指標 (KPI)	R2実績	委員評価			委員質問・指摘事項等	質問・指摘事項に対する回答・対応	
			実績評価	改善点 工夫点	総合評価			
15	津波避難タワー整備、津波避難ビル指定件数	45件	40件	○	○	B	<p>①工業港方面の防潮堤関係が他の海岸線と比べて低く作られていると思う。もう少し強化できないのか。</p> <p>②工業港方面も復旧したときに、今の防潮堤だけでは足りないのではと危険に感じるので、もう少し積極的に整備していただきたい。</p> <p>③放射性物質に対する防御の構造やシステムはどのようになっているのか。</p> <p>④流れとしては理解できるが、現象としてはあり得ることなので、今後の課題として、コンクリートでなくても一時的な防御なら他にも物質があると思うので、検討をしていた方が良くと思う。</p> <p>⑤津波避難ビルに逃げるということについて、サイン計画を実施していると思うが、それを見たときに、例えば元気いちばにいる方が避難するときに、日和山まで行けないときは復興住宅に逃げて良いというサインになっていた。住んでいる側は分かっているのか。また、民間の企業の避難ビルもあるので、その辺のサインと避難ビルとの役割と、それからお互いに知るといことも大事だと思う。</p> <p>⑥防災訓練の定例化と防災意識の高揚を図るべきと考えるのがいかがか。</p> <p>⑦市全体だけではなく、地区ごとに避難訓練をしてほしい。新しく家を建て、なかなか地域になじめない方々もどこに避難すれば安全なのか、体の不自由な人は誰が見守るのかをきちんと把握して欲しい。</p> <p>⑧沿岸部に避難タワーの増設を望む。また、豪雨災害が頻発していることから、防潮堤に囲まれた地域やハザードマップで示されている1.5メートル以上水没するとみられる地区にも避難場所を設置または確保されたいと思うが、いかがか。</p>	<p>①②避難ビルを整備することで、避難困難区域の減少につながると考えております。ポンプ置き場や排水場等、公共施設についても、指定できないか現在協議を進めております。少しでも多く整備につながるようになっていきたいと考えております。民間の事業所の整備については、新規の部分が落ちてきたこともあり、難しさはございます。避難ビルやタワー以外も含めて、総合的に検討してまいります。</p> <p>③④放射性物質を加味した上での整備にはなっておりません。原子力災害での避難については、屋内退避施設として、原発5km圏内に、国の補助を受け市内で6箇所整備しております。放射性物質の防御に対する考え方としては、コンクリート製の堅牢な建物の中に屋内退避ということがありますので、学校等の避難所に屋内退避していただくということになります。</p> <p>⑤今年度、中央の復興住宅の自治会で防災訓練の話が進んでおります。防災士の方に出向いてもらったりして、地域の方の受け入れについて、連携して迅速な避難につながるよう、周知・説明を行ってまいります。</p> <p>⑥訓練の実施日については、市民からの要望が多く寄せられ、例年、11月第1日曜日を基本に、市全体での防災訓練を実施し定着化を図ることとしております。今後はコロナ禍でも対応可能な訓練や誰もが参加しやすい訓練など創意工夫し、防災意識の低下を招くことがないように意識啓発を図ってまいります。</p> <p>⑦各地域においては、自主防災組織が主体となり、独自に避難訓練等を実施し、住民が協力して地域の防災力向上に努めております。また、避難場所については全戸配布しているハザードマップを確認していただき、近隣の安全な避難場所の把握をお願いいたします。なお、体の不自由な方への対応については、福祉部での対応となりますが、各関係部署とも連携しながら、災害対応を図ってまいります。</p> <p>⑧震災後、復興交付金を活用して、市内沿岸部には避難タワー4基、避難ビルは主に高盛土道路等の内側などに36箇所指定しております。また、海岸防潮堤等のハード整備も進み、避難ビル等の配置状況から津波による避難困難区域も現在のところ見受けられず、避難タワーの増設は現在のところ考えておりません。また、近年、大雨による大規模災害が全国的に多発していますが、共通点として「避難情報に気づかない」、「今まで被害がなかったので我が家は安全」と思い込み、避難しなかったことが問題視されております。このため、市民の方々については、自治体等から発信される情報に注視しながら、いち早く安全な避難場所等への避難をしていただくことが災害時には重要であると考えておりますので、様々な情報発信手段の対策を講じながら、避難場所の在り方についても地域等と協議してまいります。</p>

重要業績評価指標(KPI)毎の委員評価等一覧

No.	重要業績評価指標 (KPI)	R2実績	委員評価			委員質問・指摘事項等	質問・指摘事項に対する回答・対応	
			実績評価	改善点 工夫点	総合評価			
16	旧北上川下流域における長期係留船舶	0隻	40隻	○	○	B	<p>①北上川を石巻の観光の目玉と位置付けて、観光開発（遊覧船等）すべきでは。</p> <p>②旧北上川水面利用者協議会の文言があるが「旧」を削除し、「きたかみ川」にするなど新しい北上川に対するイメージ創りができないか。</p> <p>③持ち主が分かっていない船は処分しても良いのではないか。</p> <p>④川の流れが妨げられることは、新たな災害に晒されることとなることから、担当部局に、水辺の美化と違法係留の撲滅に向けて活動の強化と合わせて、違法者に対して指導力を発揮してもらいたい。また、いくら係留施設を整備しても使われなければ意味をなさない。使いやすい施設となるよう努力していただきたい。</p>	<p>①市観光部局等との情報共有を図ります。 また、現在、船舶の係留施設として整備している「石巻市南浜マリーナ」につきましては、指定管理者と連携し宣伝・周知活動を図ります。</p> <p>②「旧北上川水面利用者協議会」の名称は正式な河川名を用いているため「旧北上川」としております。 一方、「旧北上川」を「北上川」に変更してほしいという声も頂いておりますが、正式に河川名称を変更するためには、法的な手続きが必要となります。 河川名称の変更につきましては、可能なところからの取組みとして本市で使用する広報誌等では地域呼称として「旧北上川」を「北上川」と記載することとしております。</p> <p>③一級河川の河川区域内に放置されている船舶の処分等につきましては河川管理者（国）が行うこととなりますので情報共有を図ります。</p> <p>④国土交通省では、令和3年7月1日から河川法による船舶放置禁止区域として旧北上川河口部の区域を指定しており、今後、不法係留船対策を強化することとしております。 また、現在、船舶の係留施設として整備している「石巻市南浜マリーナ」につきましては、指定管理者と連携し利用しやすい施設となるよう努めてまいります。</p>

重要業績評価指標(KPI)毎の委員評価等一覧

No.	重要業績評価指標 (KPI)	R2実績	委員評価			委員質問・指摘事項等	質問・指摘事項に対する回答・対応	
			実績評価	改善点 工夫点	総合評価			
17	空き家等の活用 件数 (H27年度～ R2年度累計)	15件	13件	○	○	B	<p>①空き家の利活用だけではなく、その空き家で迷惑を被っている市民の方への対応も大事だと思う。予算がとても大きく感じるが、改修は少ない。予算を、例えば解体費用の補助金に回すとか、柔軟な活用を意見として述べさせていただく。</p> <p>②家族であっても、末裔になっていくと相続がうまくいかない。法務局も絡む話だとは思いますが、石巻は空き家がたくさんあると思うので、早いうちに対応していく必要があると思う。</p> <p>③移住対策に係る空き家の利活用について、働き手、若者をターゲットに石巻に呼ぶという発想があるかと思うが、首都圏で退職してふるさとにUターンしたいが、誰も身寄りはないという場合もある。シェアハウスの対象を若者だけに限らず、あり方を考えていくべきでは。例えば、高齢化が進んで一人暮らしをしている方が何を求めているかといえば、話し相手が欲しいのでは。その辺を考慮すれば、移住件数ももっと伸びるのではないかと。</p> <p>④実績が13件であるが、日和山において多数あることの認識はあるか。</p> <p>⑤活用の早期化（整備）と不要物件の解体実施（市条例の整備）が必要では。</p> <p>⑥実績をもっと上げる工夫が必要ではないか。</p> <p>⑦60才、70才代も元気で働きがいのある場所を求めていると思う。シェアハウスの提供も幅広い年齢層に対応してはどうか。</p> <p>⑧空き家はずいぶん増えている。もう住めない家は撤去にお金がかかるのでそのままという人もいるので、その所に何かしらの支援の検討を求めるが、どのように考えているか。</p> <p>⑨修繕予算を見る限り、空き家の利活用も大事であるが、防災上の視点から解体に向けても体制を強化すべきと考える。また、耐用年数が過ぎている市営住宅については、住民に移転先を示し、出来るだけ早急に解体するべきである。復興公営住宅に入居する高齢者への支援を強化すべきである。</p> <p>⑩復興住宅の空き家について、現在耐用年限が経過している市営住宅の住人が移ったとしても、約440戸程度しか埋まらない。さらに、民営のアパートを邪魔しないようにするとすると、1,000戸単位で余ってしまう。それに対して今後の対策をどう考えているのか。</p> <p>⑪解体費用等の補助金の検討も必要ではないか。</p>	<p>①②個人所有というのは一番ネックにはなっている。行政代執行という最終手段はあるが、細かい条件をクリアしなければならなかったりと、とても時間がかかる。こういったことも含めながら、対応してまいります。</p> <p>③(地域振興課回答) 移住のターゲットは、若い人だけと絞っているわけではありませんが、問い合わせは若い方からのものが多いというのは事実であります。ただ、リタイアしたあとに悠々適度に暮らしたいという問い合わせもありますので、あらゆる年代に対応できるようにしていきたいと思っております。その中で、高齢者のシェアハウスというのはこれまで考えたことのないアイデアであります。委託業者とも実現可能かというところも含めて今後検討してまいります。</p> <p>④日和山における空家の認識 →日和山地区（日和が丘、泉町、大手町地区）における、空家等の苦情相談件数は41件あり、現地確認等の対応を行っております。</p> <p>⑤⑥ 活用の早期化等については、令和3年7月1日に石巻市空き家バンクを開設したことから、今後は、本制度に基づき空家等の活用について取り組んでまいりたいと考えております。 不要物件の解体実施については、「石巻市空家等対策計画」において、空家等の解体補助の創設について検討することとしており、今後、市の空家等の現状を見据え対応を検討してまいります。</p> <p>⑦(地域振興課回答) 高齢者向けのシェアハウスは整備してはおりませんが、過去に60才以上の方が利用した実績があり、年齢に関わらず利用可能となっております。</p> <p>⑧「石巻市空家等対策計画」において、空家等の解体補助の創設について検討することとしており、今後、市の空家等の現状を見据え対応を検討してまいります。</p> <p>⑨解体に向けた体制整備は、「石巻市空家等対策計画」において、空家等の解体補助の創設について検討することとしており、今後、市の空家等の現状を見据え対応を検討してまいります。 移転計画については、「石巻市営住宅等の用途廃止に伴う入居者移転計画」において対象住宅を年度ごとに設定しており、本計画に基づき対応を図るとともに、全戸移転が完了した住宅については、早期の解体を行いたいと考えております。 復興公営住宅に入居する高齢者への支援については、復興公営住宅全戸に緊急通報システムが導入されており、万が一の連携体制が整備されていることと認識しておりますが、その他の事業についても福祉部門と連携し有効な手段を調整してまいりたいと考えております。</p> <p>⑩「石巻市営住宅等の用途廃止に伴う入居者移転計画」における計画最終年度となる令和26年度では、必要戸数2,635戸に対し、計画実施時の市営住宅の戸数は3,131戸となっており、496戸の差となっております。 今後も定期募集戸数の増加や、臨時募集、随時募集等を継続し、空き戸数の解消に向け取り組んでまいりたいと考えております。</p> <p>⑪「石巻市空家等対策計画」において、空家等の解体補助の創設について検討することとしており、今後、市の空家等の現状を見据え対応を検討してまいります。</p>

基本目標2 人材を育成し安定した雇用を創出する

No.	重要業績評価指標 (KPI)	R2実績	委員評価			委員質問・指摘事項等	質問・指摘事項に対する回答・対応	
			実績評価	改善点工夫点	総合評価			
18	看護師、保健師、社会福祉の専門的職業の有効求人倍率 (常用フルタイム)	1.50以下	2.73	○	○	B	<p>①石巻市立病院を改革し、全ての医療関係の中核施設として指導的役割を担うべきでは。また、市の財政が逼迫している中で、存続を考えるためにも、プロジェクトを作成するべきではないか。</p> <p>②地元定住を条件とする医師、歯科医師、薬剤師等の助成金はないのか。</p> <p>③福祉関係の仕事は人手不足なのか。朝から1日ではなく時間を短くして交替して多くの人が働けるようにできないのか。</p> <p>④石巻市に優秀な人材を多く集める観点から、予算を倍増し一人当たりの補助金を増額すること、就労先の確保と就労先の賃金等労働条件を明示させ、就労予定者に選択の幅を持たせることが必要であると思うが、いかがか。</p> <p>○子ども・老人に優しい街と言われるように有資格者が多いことは大切なこと。</p>	<p>①県の地域医療計画に基づき、石巻赤十字病院をはじめ、他の医療機関との連携に積極的に取り組み、切れ目のない医療提供体制の構築を計ってまいります。また、令和2年度に経営改善プロジェクトとして院内にワーキンググループを設置し、課題改善策を策定しました。今年度は改善策を実行に移し、収支改善を図ってまいります。</p> <p>②地域包括ケアの推進には、医師、歯科医師、薬剤師等の確保も必要ではありますが、他の医療・介護職に比べて収入が高いことや、人材不足が顕著な介護分野に就職する人への支援を優先するため、医師や薬剤師は対象外としております。</p> <p>③令和3年6月の宮城県内の専門的・技術的職業の有効求人倍率は、他の職業と比較しても高く、『看護師、保健師等1.94』『社会福祉の専門的職業2.24』となっております。石巻管内はさらに高く『看護師、保健師等3.06』『社会福祉の専門的職業2.41』となっていることから、人手不足の状況が続いております。働き方については、各事業所の勤務形態や施設利用者の状況によって異なると思われませんが、補助金の助成対象者は、『石巻市内に事業所を有する事業主に正規雇用されていること』を条件の一つとしているため、フルタイムでの勤務でない対象にはなりません。</p> <p>④助成金の金額は、皆一律ではなく、『奨学金の返還金の額』で上限が年20万円となっております。令和3年度の4月の申請者82名のうち、返還額が20万円を超える方は28名であります。今年度事業所向けに実施したアンケート結果によると、求人はハローワークを利用している事業所が9割を超えているため、ある程度の賃金等労働条件は明示されているものと考えられます。</p>
19	地域医療福祉セミナー参加者数	50人/年						
20	石巻地区勤労者福祉サービスセンター会員数	3,500人	2,564人	○	○	B	<p>①会員が減っている状況で、中小企業においても福利厚生には目を向けてきているが、非正規の方々には行き届かないと思う。会員の枠の中に非正規の方々を入れるのか。また、零細企業についても拡大できないのか。</p> <p>②参加者を増やすための魅力ある企画の充実を期待するが、どのように考えているか。</p> <p>③会員になるメリットをもっとPRし、魅力がある事を全面に出していけば良いのでは。</p> <p>④人材確保の観点から、中小企業も独自で福利厚生事業を展開してきていると考える。福利厚生事業未整備の中小企業に対する就労支援を強化するため、2市1町のホームページへの定期的掲載を継続し周知すること。市長・町長を含む理事会での決定に基づき事業展開できるように拠出金の額を各市町で増額すること。サービスセンター事業展開を充実させるための人材を確保・育成すること。</p>	<p>①2市1町で取り組んでおり、産業部長が理事となっているので、役員会の中でも拡大できないかということも議題にしております。周知については、行き届いていないことは感じております。市報に載せておりますが、隅々まで読まれているかというところで、足りないところは考えております。勤労者福祉サービスセンターの職員が各企業を訪問していましたが、コロナの影響があったので、収束後に企業訪問等周知拡大を行ってまいります。</p> <p>②魅力ある企画の充実が会員数の増加に大きくつながると考えておりますので、勤労者福祉サービスセンターと協議する際は、様々な意見や情報の共有に努めてまいります。</p> <p>③回答①のとおり、周知についてまだ行き届いていないところがあるため、行き届くような体制を整え、メリット・魅力のPRの強化を図ってまいります。</p> <p>④定期的な広報紙及びホームページへの掲載は今後も実施の上、周知を図りたいと考えております。昨年の回答同様、拠出金の増額は難しいと考えておりますので、事業の充実に向けた人材確保・育成は勤労者福祉サービスセンターと協議を行ってまいります。</p>

重要業績評価指標(KPI)毎の委員評価等一覧

No.	重要業績評価指標 (KPI)	R2実績		委員評価			委員質問・指摘事項等	質問・指摘事項に対する回答・対応
		実績評価	改善点工夫点	総合評価				
21	創業・第二創業件数 (H27年度～R2年度累計)	170件	161件	○	○	B	<p>①平成27年度と比べると実績が10分の1になっている。コロナの影響等あるかと思うが、県内のほかの自治体や全国と同じ様な規模感の自治体と比べてどうなのか。また、創業が盛んな福岡等、そういった自治体と情報交換等はしているのか。</p> <p>②起業ニーズの掘り起こしと、支援策の充実を望むが、いかがか。</p>	<p>①当初は創業を考えている方が多かったが、最近は相談件数が少なくなっております。水準として他の自治体との比較はしておりません。先進自治体との情報交換はしておりませんが、色々な事例を今後取り入れてまいります。</p> <p>②起業ニーズの掘り起こしとして、起業をしてから5年未満の事業者（市の支援策を受けた者）を対象に毎年1回経営状況や必要な支援等に関するアンケート調査を実施しているほか、起業に関する総合相談窓口の設置や年12回実施している中小企業診断士による個別相談会の相談内容をもとに必要な支援について検討を実施しております。また、支援策の充実として、実施が必要な支援については、市で内容を検討の上、産学官の連携により維持されている石巻市創業支援事業者連携会議で議論を行っている状況でございます。このことからニーズを把握していく中で本当に充実が必要と思われる支援策については、連携会議で議論を行いながら拡充を図ってまいります。</p>
22	創業相談件数 (H27年度～R2年度累計)	260件	254件	○	○	B	<p>①ニーズの把握と効果的なマッチングの実施を望むが、いかがか。</p>	<p>①ニーズの把握については、NO. 21に記載した内容で実施しており、必要な支援と起業予定者のマッチングに関しては市の窓口で必要な情報の提供を行っているほか、起業予定者が様々な情報を一括で入手できるよう起業に関する総合相談窓口を設置しており、ワンストップで必要な支援とのマッチングが実現できるようになっております。また、マッチングに限らず有益な情報に関しては、随時、石巻市創業支援事業者連携会議のメンバーへ共有する体制を整備しており、市のみでなく、地域で起業予定者を支援する体制を整えることでマッチングを含むより効果的な支援を実施しております。</p>
23	肉用牛産出額	12億円	10億9千万円	◎	○	A	意見なし	
24	6次産業化事業計画認定数 (H27年度～R2年度累計)	20件	9件	×	○	C	<p>①成功事例の研究と啓発活動強化が必要ではないか。</p> <p>②事業費の割には大きな成果は認識できない。運営自体を再検討する必要があると思われる。委託事業者についても検討が必要と考えるが、いかがか。</p> <p>③平成29年以降の実績を見る限り、費用対効果を検討するべき時期ではないか。</p>	<p>①6次産業化・地産地消推進センターが令和元年度に開発支援した商品が宮城県水産加工品品評会において農林水産大臣賞を受賞するなど、蓄積された知識や経験を6次化センターが効果的に活用していると考えられます。事業者の形態は多種多様なので、新たな専門支援員を追加等による支援体制の改善を行ってまいります。また事業者への周知においては、6次化センターがHPやSNSを活用した周知を行っているほか、支援対象を広げることを目的とした事業所への訪問活動を実施することで案件の掘り起こしとした活動を行っております。</p> <p>②令和2年度までは6次産業化・地産地消推進センター運営業務は(株)東北農都共生総合研究所、産業復興支援員推進業務は石巻産業創造(株)への委託を行ってまいりました。しかし、令和3年度からは2つの事業委託を石巻産業創造(株)へ一本化して委託し、運営や効果等の再確認・再精査に努めております。</p> <p>③回答②と同様となりますが、令和2年度の委託料として約55,220千円となっていたところを令和3年度では30,000千円まで削減を予定し、事業経費等の再精査を行っております。</p>

重要業績評価指標(KPI)毎の委員評価等一覧

No.	重要業績評価指標 (KPI)	R2実績	委員評価			委員質問・指摘事項等	質問・指摘事項に対する回答・対応	
			実績評価	改善点 工夫点	総合評価			
25	農林水産業新規就労者数 (H27年度～R2年度累計)	60人	50人	○	○	B	<p>①宮水、北高への社会人派遣による出前授業で成功体験談を聞かせ動機付けするという試みを行ってみたいかがか。</p> <p>②漁業において、新規就労者が安心して働ける労働・生活環境の整備を後押ししてもらいたい。特に漁業は3K職場と言われている。後継者不足が言われている中で地域の漁業を絶やさないためにも個人経営が難しいところは、共同体としての組織に変えて支援していく時期と考える。農業においても一部で解散しているところもあるが、共同経営的な組織づくりも進めていただきたい。</p> <p>③離職している人の理由の分析も必要かと思う。それが改善点につながるように思うが、どのように考えているか。</p>	<p>①高校への就業ガイダンス等を実施し、地元高校卒業者の雇用確保に努めているところですが、ハローワークや高校では、社会保険適用事業所への斡旋に努めており、一次産業では個人経営者が多いことから、地元高校からの就労希望者が少ない状況にあります。このため、社労士による事業所向けの相談会等を開催しているが、関係機関と連携して、高校との意見交換等によりニーズを把握し、出前授業等の実施についても検討してまいります。</p> <p>②本市の担い手事業において、集落単位での経営状況、後継者の有無、雇用可能性等の調査を実施している。それらの調査結果をもとに、持続可能な漁業経営のあり方、集落の存続について、関係団体と検討していく必要があり、共同経営的な組織づくりが可能かについても検討してまいります。</p> <p>③離職理由は、仕事の内容や生活について就労前の印象と現実の乖離によるものが多いことから、就労希望者には労働内容の現状説明や、就労前の体験研修により、気持ちの乖離をなくすよう努めております。また、地域に馴染めるよう生活面の支援も実施しているが、離職理由については、聞き取りを行うなど情報収集し、就労環境の改善による定着につながる支援を検討していきたいと考えております。</p>
26	輸出増加数量 (平成26年比)	50トン増	68.1トン増	○	○	B	<p>①原料輸出から、付加価値の高い製品輸出へ誘導すべきと思うが、いかがか。</p>	<p>①輸出については、国毎に規制が異なり、その国の条件を満たす必要があります。加工品となると、調味料等の規制があり、制限が比較的少ない原料輸出や、一次加工品(フィレ、ドレス)が輸出しやすい現状であります。ご指摘のとおり、海外市場での優位性を確保するため、付加価値を高めることは重要であると認識しており、工場の衛生管理基準の認証に係る補助事業を実施しております。その他、付加価値を高めるためには何が必要かについても、今後検討してまいります。</p>

重要業績評価指標(KPI)毎の委員評価等一覧

No.	重要業績評価指標 (KPI)	R2実績	委員評価			委員質問・指摘事項等	質問・指摘事項に対する回答・対応
			実績評価	改善点 工夫点	総合評価		
27	観光客入込数	3,600,000人/年 2,586,309人/年	○	○	B	<p>①新型コロナウイルスの影響で来館者数が軒並み減少していることはやむをえないと思うが、前の経済活動にいち早く戻り、例年並み以上の入場者数、入込み数を確保する事業展開が必要と思われる。それには、それぞれの既存施設の特徴を十分活かしたイベントを企画立案し中心市街地と半島部（牡鹿・雄勝・北上）の観光・文化・スポーツ施設資源が一体となって観光客を誘致し、魅力ある石巻市を目指すことが人口定住にもつながると思うが、どのように考えるか。</p> <p>②民宿等の宿泊施設を含めて圏内のルート開発をしてはいかがか。</p> <p>③施設ごとの人数を示したうえで総合計として表示していただきたい。</p> <p>○アフターコロナに期待する。</p> <p>○昨年と同様に、皆様がコロナの件で外出が出来ずに、これは特別の年で対象ではないと思う。</p>	<p>①震災後、雄勝、牡鹿、北上に整備された拠点施設や南浜津波復興祈念公園、マルホンまきあーとテラスなど新たに整備された施設を効果的に活用し、それぞれの点ではなく、面でとらえ、地域住民との交流につながる魅力ある体験型コンテンツを取り入れ、一元的な情報発信に努め、交流人口、関係人口の拡大を図ることが重要と考えております。</p> <p>②滞在時間の延長は本市の課題であり、関係機関等と連携し、民宿や農泊・渚泊等も取り入れ、宿泊施設を含む魅力ある周遊ルートの構築に努めてまいります。</p> <p>③全ての施設は掲載できませんが、主要施設とその他市内及び旧町分の入込み数は下表のとおりです。</p>

施設・イベント別入込数 (人)

	平成30年	令和元年	令和2年
石ノ森漫画館	187,150	229,633	69,999
いしのまき元気いちば	1,051,530	1,204,927	1,089,095
道の駅・上品の郷	944,316	953,627	598,072
(漫画館・元気いちば除く)市内	641,858	1,127,846	309,258
(上品の郷除く)河北	13,000	9,500	0
雄勝	57,973	54,166	66,524
河南	145,899	128,175	73,663
桃生	18,176	18,934	2,268
北上	114,004	131,798	82,339
牡鹿	162,063	188,429	295,091
合計	3,335,969	4,047,035	2,586,309

重要業績評価指標(KPI)毎の委員評価等一覧

No.	重要業績評価指標 (KPI)	R2実績	委員評価			委員質問・指摘事項等	質問・指摘事項に対する回答・対応
			実績評価	改善点 工夫点	総合評価		
28	石ノ森萬画館入場者数	204,469人/年 64,871人/年	×	○	C	<p>①萬画館について、コロナ禍で集客は難しいと思うが、関連するモニュメントを施設周辺に設置すれば来館者も増えるのではないかと。</p> <p>②コロナの影響でだいが入場者数が少なく大変であると思うが、こういうときこそ地元の子どもたちや地元の人に見てもらおう仕掛けができないかと思う。例えば涌谷町だと天平の湯の優待券を全戸配布したり、できるだけ地元の方に来ていただくきっかけ作りをしている。学校単位等、この機会にこそ地元の子どもたちに見てもらって、少しでも賑わいを作れたら。</p> <p>③イベントの多様化（親子で楽しめるもの）が重要であると思うが、いかがか。</p> <p>④コロナ禍の今後を考えても、萬画館だけでなく中瀬地区の公園化が進められることから、屋外に漫画関連のモニュメントを数多く設置して、多くの来園者を迎えていただきたい。</p> <p>○昨年と同様に、皆様がコロナの件で外出が出来ずに、これは特別の年で対象ではないと思う。</p>	<p>①コロナだけを理由にできないので、様々な手法を検討し、情報を発信して取り組んでまいります。</p> <p>②地元一丸となって取り組んでいくことが大切だと考えます。今年は開館20周年ということで、色々なイベントを予定しているが、地元の方々に来ていただけるような仕組みを考えていくことが必要だと考えております。</p> <p>③イベントの多様化については重要だと考えております。今後も指定管理者と連携し様々な企画を考えてまいります。</p> <p>④かわまちエリアの整備により萬画館への散策ルートも魅力の一つであると考えております。今後も地域事業者等と連携し来園者の増加に努めてまいります。</p>
29	観光交流施設の来場者数[再掲]	1,277,089人/年 1,083,655人/年	/	/	/	—	—
30	道の駅来場者数	1,050,000人/年 549,597人/年	○	○	B	<p>①道の駅来場者数について、道の駅は慣れてくると新しい魅力が欲しくなる。道の駅の近くにある梨の木水門は白鷺や白鳥など、子どもにとって非常に良い自然観察の場になっている。アクセス道路や休める場所を設置すれば、親子で楽しめる水辺の野外観察所になる。プラスアルファの魅力になると思う。</p> <p>②周辺地域の製品の品揃えを増やし、平日と休日の産品群の陳列を工夫してみてもどうか。</p> <p>○昨年と同様に、皆様がコロナの件で外出が出来ずに、これは特別の年で対象ではないと思う。</p> <p>○アフターコロナに備えて、色々な努力が感じられた。</p>	<p>①参考とさせていただきます。</p> <p>②河北の生産者以外の周辺地域へ出荷募集の積極的な呼びかけを実施しており、生産者の増加と品揃えの増加を引き続き図ってまいります。また、現在も実施している外部販売等のイベントに加え、石巻圏内の商工会と連携した販売会の実施を計画しております。月末の土日に「かあちゃん市」を開催しており、好評のため、今後、「上品の郷朝市」の開催を検討していくとともに、今後とも集客対策を努めてまいります。</p>

重要業績評価指標(KPI)毎の委員評価等一覧

No.	重要業績評価指標 (KPI)	R2実績	委員評価			委員質問・指摘事項等	質問・指摘事項に対する回答・対応	
			実績評価	改善点 工夫点	総合評価			
31	外国人観光客宿泊者数 3,000人/年	827人/年	×	○	C	<p>①高校生、大学生、市民の通訳ガイドの多用と、アシスト表示の徹底が必要。語学力でなくホスピタリティーを重視して検討してほしい。</p> <p>②コロナの影響は分かるが、観光客数が減少しても、逆にその間にできることが沢山あったと思う。電子マネーの普及がとて石巻市は遅れていて、まずは外国人を呼び込めるだけのコンテンツづくりや電子マネー等の環境整備が出来たはず。情報発信も重要だが、その前にすべき課題が多いように思うが、市としては、受け入れるにあたっての課題等はどのように考えているのか。</p> <p>○昨年と同様に、皆様がコロナの件で外出が出来ずに、これは特別の年で対象ではないと思う。</p> <p>○アフターコロナに期待する。</p>	<p>①インバウンドの対応として通訳ガイドの育成は重要な課題となっております。今後もまちなかインバウンド推進ネットワーク等と連携し、受け入れ態勢の強化、地域のおもてなし気運の醸成に努めてまいります。</p> <p>②インバウンドの受け入れについては、通訳ガイドの育成、おもてなし気運の醸成、キャッシュレス対策等が課題となっております。コロナ禍での安心安全な観光推進のためにもキャッシュレス対策は有効な手段であり、今後ともまちなかインバウンド推進ネットワーク等と連携し、セミナー開催などにより事業者へ呼びかけてまいります。また、3か年で多言語案内板の整備を進めており、今後も関係団体等と連携し、インバウンドの利便性向上に取り組んでまいります。</p>	
32	オープンデータ活用事例数 (H27年度～R2年度累計)	14例	14例	◎	○	A	<p>①オープンデータ活用事例集について、非常に効果が上がっていると感じる。震災ナレッジ証言や震災の見える化等、他の国や地域にも非常に役立つ情報として生かされるものだと思うので、多言語化をするのが良いのではないかと。津波であれば、インドネシアやその周辺の地域は何度も被害を受けているので、石巻の記録は非常に貴重なものではないか。別の視点から見ると、小中学生の学習効果を高めるような、石巻メソッドのようなものを開発できたら良いのではないかと。</p> <p>②オープンデータの気象情報の活用は農林漁業だけでなく多くの現場・産業・機関で貴重な道しるべとなりうる。また、原子力防災だけではなく、自然災害等でも利用できる情報源である。安全確保のためにも早急に使用環境の整備を進めて市民が活用できるようにすべきである。特に原子力防災においては命を守る大事な指標になりうるものである。また、外国の人にもわかるもの及び子供たちの学習材料となるような配慮を要請する。</p>	<p>①当市は全国全世界から御支援いただいているので、貴重なデータを共有し、大きな災害に備えていくということは、非常に大事なことだと考えております。翻訳を市独自で行うのはデータが膨大すぎて難しいかと思いますが、オープンデータ化することで、利用者が翻訳してくれることもあると考えられます。様々なことに活用できるので、データの整備を迅速に進めてまいります。</p> <p>②気象情報については、現状、市独自でデータ収集する仕組みはありませんが、気象庁のオープンデータサイトでは全国自治体の気象データがオープンデータとしてダウンロード等が可能となっております。当市のオープンデータサイトからリンク設定する等してデータ利活用の促進に努めてまいります。</p>
33	石巻テレワーク登録者数	100人	179人	○	○	B	意見なし	

基本目標3 絆と協働の共鳴社会をつくる

No.	重要業績評価指標 (KPI)	R2実績	委員評価			委員質問・指摘事項等	委員質問・指摘事項に対する回答・対応	
			実績評価	改善点工夫点	総合評価			
34	コミュニティづくり支援補助金申請件数(復興公営住宅分)(H27年度～R元年度累計)	30件						
35	地域包括ケア推進拠点設置件数	7か所	7か所	○	○	B	<p>①達成率100%なのになぜ担当課評価はBなのか。</p> <p>②相談者に添って迅速に支援する体制をさらに強化していただきたい。</p>	<p>①令和2年10月から各総合支所にも相談窓口を配置しましたが、まだ下半期分で稼働状況が我々の肌感覚からすると十分に機能しておりませんので、令和3年度の取組課題と考えたため、評価Bとしました。</p> <p>②関係課とのネットワーク会議を開催し、「顔の見える関係」づくりを行い、「相談業務の見える化(一覧表作成)」の共有や「同意書」を活用した円滑なつながりを進めてまいります。</p>
36	複合課題等に対する相談支援件数	110件	78件	○	○	B	<p>①相談員のスキルアップを行うとともに、毎回ではなくとも、相談内容によっては迅速に弁護士等の専門家につなげるような体制を作っていただきたい。</p>	<p>①今年度は、相談員や関係課の職員を対象とした研修会を2回予定しており、スキルアップに努めております。また、弁護士相談については、市民相談センターと連携し弁護士につなぐようにしているが、なお一層連携を図ってまいります。</p>
37	地域包括ケア研修会延参加者数	1,000人/年	445人/年	○	○	B	<p>①関係者の研修会等は平日でもかまわないが、一般市民向けには土日開催も検討していただきたい。</p>	<p>①今年度は、平日開催で会場も抑え周知しておりました。なお、一般市民から要請のある出前講座については、土日も対応しております。現段階では土曜日の実施が1件あり、今後も対応は継続してまいります。</p>
38	石巻市シルバー人材センターの年間延べ就業人員	45,600人	33,744人	○	○	B	<p>①「シルバー」という名称を変えてはどうか。シルバーと聞くと、参加をためらってしまう。</p> <p>②65歳から入っても10年は働けると思うので、もっとPRが必要なのではないかと。</p> <p>③高齢者はワクチン接種がほぼ終了していることから、センター独自のワクチンパスポートを作成し、事業の拡大を図りたい。県内の学校の消毒作業にシルバー人材センターの会員が4～5人で1校2時間程度で作業に毎日当たっているとの報道があった。作業人数は学校の規模にもよるが、危険は避けつつ、いろいろな作業を自ら開拓してはどうか。</p> <p>④北上や雄勝、牡鹿などにサテライトセンターのような位置づけでシルバー人材センターを設置することはできないか。それによって、シルバー人材センターを利用する人も登録する人も増えるように感じる。サテライト・シルバーセンターを地域自治システムと連携するという手法もできると思うが、いかがか。</p>	<p>①法律上もシルバー人材センターという名称を使っております。また、公益社団法人ということで県からの認可を受けておりますので、名称を変えづらい部分もございます。</p> <p>②定期的な広報紙への掲載依頼は行っているものの、十分に行えているわけではないため、掲載頻度や周知方法については考えて進めてまいります。</p> <p>③仕事の開拓のため、様々な仕事に対応できる旨、チラシ等でPRを図っているが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、十分に行えておりません。以上を踏まえ、収束後等に向け周知を図ってまいります。</p> <p>④実施した場合、意見のとおり利用者等の増加が見込めるとは思いますが、実施の有無を判断するのは管理運営を行う公益財団法人なので、情報を共有させていただきます。</p>

重要業績評価指標(KPI)毎の委員評価等一覧

No.	重要業績評価指標 (KPI)	R2実績	委員評価			委員質問・指摘事項等	委員質問・指摘事項に対する回答・対応	
			実績評価	改善点 工夫点	総合評価			
39	住民主体による訪問型・通所型サービスの実施団体数	13団体	1団体	×	×	D	<p>①ずっと1団体でD評価を繰り返している。この状態が続くのは良くない。色々な事情があると思うが、計画そのものを見直すべきではないか。</p> <p>②1団体のための補助事業になっている。補助金額の割に条件をクリアさせることが難しい事業だと感じることから予算の拡大が必要。事業の見直しが必要。民間活力を引き出すような支援体制にシフトすべきである。</p> <p>③根本的な見直しが必要と感じる。</p> <p>④地域協働課が進めている地域自治システムと協力した方が効率的・合理的だと思う。この事業を単体で運営し持続させるのはこの予算規模から考えても難しいと思う。</p>	<p>①ケアプランに基づいて、国の基準に従って行う難易度の高い事業でございます。県内4つの自治体しか実施しておらず、全国的に見ても約12%の実施状況となっております。高齢者をはじめ民間の方、様々な方が参画していただいたの支えあい体制の整備は必要であります。まだ1団体ですが、一つの宝として模範的な団体の事業だということを念頭において、今後も継続することに尽きるとかんがえております。計画の見直しではなく、指標の見直しが必要であると考えております。</p> <p>②③ ①に記述のとおり、国の基準に従って実施する介護保険事業で、ケアマネジメントにより支援が必要とされた方が対象となっており、個人の秘密事項の保持に努めることや、運営に当たっては衛生管理、健康管理、事故対応方針など、通常のサロン活動などに比べ制限がございます。通常のサロン活動などが本事業へ移行することは可能ですが、補助金額の拡大以前に前述した要件が足かせとなっている。しかし、通常サロン活動の発展的的事业である本事業を今後も各サロン団体へ周知してまいります。予算の拡大については、その必要性や様々な状況を勘案しながら対応してまいります。</p> <p>④地域自治システムと連携し第2層協議体としての協議事項の一つとして議論することは有効と思われます。</p> <p>①に記述のとおり、国の基準に従って実施する介護保険事業で、ケアマネジメントにより支援が必要とされた方が対象となっております。個人の秘密事項の保持に努めることや、運営に当たっては衛生管理、健康管理、事故対応方針など、通常のサロン活動などに比べ制限がございます。通常のサロン活動などが本事業へ移行することは可能ですが、補助金額の拡大以前に前述した要件が足かせとなっております。しかし、通常サロン活動の発展的的事业である本事業を今後も各サロン団体へ周知してまいります。予算の拡大については、その必要性や様々な状況を勘案しながら対応してまいります。</p>
40	都市公園愛護会結成数	128団体	128団体	◎	○	A	<p>①公園の清掃だけでなく、遊歩道の管理（除草作業や清掃等）は含まれているのか。特に、住吉、中里（旧合庁前）の遊歩道は整備されていない様子である。子ども会解散等も指摘されていますが、子供会の育成については、改めて生涯学習課と連携して対応できないか。</p> <p>②復興公営団地の新設町内会は既に町内会行事として毎年範囲を決めて清掃除草作業を行っているが、コロナ禍の中で各町内会は補助金を得るために清掃作業の実績作りに苦慮している。また、公園愛護会結成に向けて(大規模公園を除いて)、区域を分割して要請してはどうか。ただし公園の規模が大きいことから直営で管理していただきたい。</p> <p>○運動の活性化により市内全域が参加し「美しい街並み石巻」の創出を。</p>	<p>①公園愛護会では遊歩道の管理は含んでおりません。ご意見のありました箇所は、通称「グリーンロード」と呼ばれる遊歩道と思われますが、道路管理担当による委託管理を行っており、時期を見ながら年数回の除草を行っております。市が管理する道路の除草については、公園愛護会とは別制度となりますが、「道路除草制度」として活動団体を随時募集しており、公園愛護会と同様に自治会等への働きかけを行っております。</p> <p>また、子ども会を母体とした公園愛護会については、令和2年度では4つの団体に活動を行っていただいておりますが、今後も公園愛護会を担っていただけるよう生涯学習課と情報を共有しながら対応してまいります。</p> <p>②新市街地で新たに結成された町内会等に対する周知を行い、多くのご賛同のもと町内会活動の一環として公園愛護会を結成していただいております。地域の方々による公園の維持・管理により、身近な公園等の美化に対する意識向上が図られ、コミュニティの醸成、地域協働にも寄与しているものと考えており、今後も引き続き、復興公営住宅の団地会等についても公園愛護会結成の働きかけを行ってまいります。</p> <p>なお、公園愛護会の主な目的は、身近な公園の清掃や除草などを地域で担っていただくことであり、規模の大きい公園については、市直営での管理や造園業者等への委託による管理を基本としておりますが、公園の一部を公園愛護会で管理することも可能ですので、ご意見賜りました分割しての要請も考慮し、公園の適正な管理を図ってまいりたいと考えております。</p> <p>今後も継続して公園愛護会制度の周知に努め、また、意欲向上につながるよう制度の充実に努めてまいります。</p>

重要業績評価指標(KPI)毎の委員評価等一覧

No.	重要業績評価指標 (KPI)	R2実績	委員評価			委員質問・指摘事項等	委員質問・指摘事項に対する回答・対応
			実績評価	改善点 工夫点	総合評価		
41	旧石巻ハリストス正教会教会堂 来館者数	6,000人/年 1,414人/年	×	×	D	<p>①施設管理人を増やすことについての考え方をお聞きしたい。教会周辺の外構工事もまだ残っているように見受けられるが、全体的な計画はどのように考えているのか。</p> <p>②複合文化施設のパンフレットに萬画館やモニュメントなどの紹介が入ると思うが、ハリストス教会や観慶丸、町名の由来なども含めて掲載してはどうか。石巻を一括PRしてもらいたい。費用対効果にもつながると思われる。</p> <p>③令和3年度の改善点、工夫等について、「震災前に展示していた資料のほとんどが震災の津波で流失してしまったので、新たに展示資料の検討をしていく」とありますが、それはすでにわかり切っていたことでは。再建する段階で展示資料の検討もなく再建したということでしょうか。また、周辺の盛土や外構工事を進めたところで来館者数は増えるとは思えない。来場者数を増やすことがこの施設の指標なのかを含め、この施設の意義を再考いただきたい。</p>	<p>①管理人が1人だと、席を外したときにお客様の対応ができない等、来客対応及び施設管理が大変でありました。また、コロナで消毒・清掃を充分にする必要もあることから、今後も2名体制で行いたいと考えております。外構工事はもう少しかかる見込みです。</p> <p>②総合観光ガイドブックを作成している観光課等と調整を図り、検討してまいります。</p> <p>③震災前に展示していたものは、メトリカ（信者の名簿）や移築前に使用されていた瓦などが展示されておりましたが、すべて流失しました。また、関連データ等を保管していた文化センターも被災し、それらも失われたことから、現物の展示は実施できず、パネル展示のみとなっております。建物自体が貴重な文化財でありますので、公開を実施しておりますが、より教会堂を理解していただく為、展示資料の検討を進めたいと考えております。なお、石巻市には、旧観慶丸商店や国指定名勝齋藤氏庭園、石井閨門のほか、国登録文化財になっております建造物が4件があることから、連携してPRするなど検討してまいります。</p>
42	石巻市指定文化財旧観慶丸商店 利用者数	12,000人/年 4,787人/年	×	×	D	<p>①今年度はコロナ禍で実績が大分減少したということは理解できるが、利用者数を計算してみると一日平均10～15人程度。中心市街地の活性化の一助になるのか少し疑問である。どうしたら利活用できるかをもう少し考えることが必要では。アニメージュでまきあーとテラスも盛り上がっているし、それと関連してできることもあるのでは。また、観慶丸は誰でも中に入ることができるということが分かりにくいので、広報に力を入れてはどうか。コロナ禍が落ち着いたときに、観慶丸周辺を歩く方がもう少し増えるような戦略を望む。</p> <p>②複合文化施設のパンフレットに萬画館やモニュメントなどの紹介が入ると思うが、ハリストス教会や観慶丸、町名の由来なども含めて掲載してはどうか。石巻を一括PRしてもらいたい。費用対効果にもつながると思われる。</p> <p>③この建物は歴史的なタイルが使われている建物である。利用方法を単なる展示やコミュニティ拠点施設にするのは安易ではないか。この建物の歴史的、文化的価値を再度調査し、それら歴史やこの建物の背景にストーリーのある利用を再考して欲しい。また、文化施設のサテライト施設にする理由は何なのか、教えて欲しい。</p>	<p>①いただいた貴重な御意見は、前向きに検討させていただきます。</p> <p>②総合観光ガイドブックを作成している観光課等と調整を図り、検討してまいります。</p> <p>③旧観慶丸商店の利活用に関しては、関係団体との意見交換会なども踏まえたものであるりますが、いっそうの活用を目指し検討させていただきたいと思っております。サテライト施設については、複合文化施設と関連づけることで、来館者に相互の施設（展示）に興味をもっていただき、誘客を図れることを期待したものであります。</p>
43	移住コンシェルジュを活用した本市への移住人数	20人/年 10人/年	○	○	B	<p>①費用対効果を考えると、直営では難しいことからコンシェルジュに丸投げするのではなく、単に移住補助金制度をグレードアップし、住宅情報・就労情報・教育環境・補助金等をホームページに掲載し募集することを考えてみる時期ではないのか。ましてや児童生徒の医療費の無料化を市長が進めていることも移住を考えている人には大きな魅力となると思われるため。</p>	<p>①移住してもらえらるための有効な事業及び支援策を検討するには、当課も移住相談等に関わりながら進めていくことが重要だと認識しているため、今後も移住コンシェルジュと連携しながら対応してまいります。また、当課が実施している事業だけでなく、他課が実施している移住促進に有効な事業についても把握し、移住に関するポータルサイトを通じて情報発信しながら、取り組んでまいります。</p>
44	移住コンシェルジュへの相談件数	30件/年 41件/年	○	○	B	<p>①成功事例の研究と条件整備が重要と考えるが、いかがか。</p>	<p>①他自治体の成功事例を参考に、本市で有効な施策等を検討してまいります。</p>
45	全国移住ナビローカルホームページ閲覧数	1,000件/月	/	/	/	<p>①多くの方が見に来てくれていることから、移住情報に特化したホームページを作って発信してほしい。まずは関心を持ってもらうことが大事だがその後に繋がる情報を提供してもらいたい。</p>	<p>①全国版の移住に関するポータルサイトへ本市の情報を掲載するほか、本市独自の移住ポータルサイトを整備し、PRしてまいります。</p>

重要業績評価指標(KPI)毎の委員評価等一覧

No.	重要業績評価指標 (KPI)		R2実績		委員評価			委員質問・指摘事項等	委員質問・指摘事項に対する回答・対応
					実績評価	改善点 工夫点	総合評価		
46	教育旅行受入件数	150件/年	23件/年	×	○	C	①環境整備とルート開発が必要ではないか。	①関係団体や近隣自治体と連携し、ニーズに対応したルート開発、コンテンツ造成に努めてまいります。	
							②地元定着の観点から、「ものづくり体験メニュー」も含めたSDGsに関連した取組については市内全ての小学校でも体験させるカリキュラムを教育委員会と連携して実践できないか。	②石巻圏観光推進機構において、新学習指導要領に基づきSDGS推進を組み入れた教育ガイドガイドブックを作成しております。市内の小学校についても、体験プログラムに参加し地元を知ることによって郷土愛の醸成が図られることから、教育委員会や関係団体と連携し、実施の可能性を図っていく。	
							○コロナ収束後に期待する。		
47	石巻専修大学との助成対象事業件数	7件/年	9件/年	◎	○	A	①現状は両者の関係は希薄。市当局、市民へ積極的アプローチを誘導すべきと考えるが、いかがか。	①当連携事業の研究選定にあたり、関係課及び関係教授が出席するワーキンググループを開催し、市の抱える課題の共有や意見交換を行っております。さらに研究報告会開催を市報に掲載し、市民への周知を図っています。また、学識経験者として多くの教授方に市の各種委員会の委員に就任いただいております。計画策定等に貴重なご意見をいただいております。	
							②石巻市役所で働くことに興味を持ってもらえないことが原因の一つと思う。卒業間近ではない学生を対象にインターンシップ制度的なものを導入して実益(賃金)を得ながら働いてもらってはどうかと思うが、いかがか。	②本市では毎年3学年を中心に、石巻専修大学生のインターンシップを受け入れしております。また、例年多くの石巻専修大学生に採用試験を受験していただいていることから、進路先として一定の関心はあるものと認識しております。	

重要業績評価指標(KPI)毎の委員評価等一覧

No.	重要業績評価指標 (KPI)	R2実績	委員評価			委員質問・指摘事項等	委員質問・指摘事項に対する回答・対応	
			実績評価	改善点 工夫点	総合評価			
48	市立高校の生徒が本市に住み続けたいと思う割合	70%	53.9%	○	○	B	<p>①学校は本来県立高校が望ましい。県内唯一の公立の女子高ということを謳っているが、今の男女平等の世の中でそれは自慢にならない。先生方の努力は評価するが、石巻市の財政が非常に逼迫している中で存続すべきなのか考えなくてはならない。市立病院も、本腰を入れないと、石巻の財政の中で非常に大きな問題である。プロジェクトを作り、どうしたら市民に信頼されるのか等、考えてもらいたい。</p> <p>②桜坂高校について、SDGsにもあるように、現在は多様性が求められている中で、選択肢を潰す必要はないのではないかと。多様性を確保するのは行政の勤めであると思う。財政が厳しいのは分かるが、クラスを減らしたりと、できる努力はしていると思う。ぜひ選択肢は残して欲しい。</p> <p>③地元への定着推進については伝わってくる。53.9%とあるが、桜坂高校への入学者の中で石巻市在住の生徒の割合はどうか。また、中学校からの、桜坂高校へ入学するための働きかけはどうか。南三陸町の志津川高校が南三陸高校と名称を変え、特認校扱いとして全国から生徒を呼ぶ働きかけをしている。桜坂高校の品格教育等に魅力を感じる保護者は全国にいると思うので、地元定着という考えだけに留まらず、全国から石巻にという視点も必要ではないか。</p> <p>④かつて、吹奏楽部が全国レベルだった。指導する先生の力は大きい。人材を探し、桜坂高校に来ればこういうことができるという魅力を発信していくことがとても大事である。</p> <p>⑤高校を部活で選ぶ生徒も多い。教育委員会としてできることは、部活で特色のある先生を意図的に配置していくことである。学校を存続させることを考えると非常に大事である。東松島市の日本ウェルネス宮城高校は野球部とバレー部に特化し、強い生徒を全国から集めて実績を挙げている。何か一つに特化するのも戦略だと思うので、今後の先生の配置にも生かせたら良いのでは。</p> <p>⑥一つの学校に力を注ぐのであれば、なぜ市内の他の高校にも力を入れないのか。石巻の子どもたちはそれぞれどこかの高校へ行くが、その際に石巻市立の学校だけが高校とは認識していない。そのために、各高校に特色のある分野の指導者を配置し、それぞれの高校のカラー、魅力を育てていくような、広い視点に立った姿勢が今後大事ではないか。</p> <p>⑦設立母体が違うと難しい問題があると言うが、過去に何度もその発言がある。新しい発展性のある発想にはなっていないが、どう思うのか。</p> <p>⑧市内に住んでいる子どもたちは、どこかの高校に行く。それは市の中で市民として育っていくということ。もし根本的に解決しようとするのであれば、視野を広げて考え直した方が良いのでは</p>	<p>①②桜坂高校の進展については学校教育課だけで答えられるものではなく、教育委員会全体で考えるべきことであるので御理解願います。</p> <p>③④⑤アンケートをとった昨年度の3年生は、市内在住70%、市外在住30%であるので、53.9%を70%にあげる努力をしているところであります。市外から通っている生徒の中には、女子高に通いたいから桜坂高校への通学を判断した子も何人かいるようであります。アピールについては、様々な特色ある活動をしているものの、それがまだまだ市民や中学生に伝わっていない面があるのではないかと考えますので、今年度は発信に力を入れてまいります。具体的には、学校訪問や、様々な活動について新聞や広報紙等に載せ、高校生が活躍している姿を周知することを考えております。また、学校の紹介を高校生が中学校に出向いて行えないか、検討しております。</p> <p>⑥市内には高等学校が7校あるが、桜坂高校以外は県立高校で設置者が異なることから、本市の事業をそのまま県立高校で実施するのは非常に難しいと考えます。ただ、各校の特色を生かした魅力ある学校づくりに向けて、できる限り横の連携を図ってまいります。</p> <p>⑦県立高校の学校構想については県で行うので、連携を図るといふ以上のものについては今後考えてまいります。参考にさせていただきます。</p> <p>⑧⑨（事務局回答）市の高校生に関する御意見として、理想としてこうあるべきという御指摘はもっともでございます。しかし、我々が県立高校の事業を位置づけることは越権行為になってしまうということは御理解いただきたいと思っております。ただ、市内の高校生に対するアンケート調査は市内の全高校に御協力いただいておりますし、必要がある場合には御協力をお願いをしながら、連携をとって事業を進めてまいります。</p>

重要業績評価指標(KPI)毎の委員評価等一覧

No.	重要業績評価指標 (KPI)	R2実績	委員評価			委員質問・指摘事項等	委員質問・指摘事項に対する回答・対応	
			実績評価	改善点 工夫点	総合評価			
						<p>⑨前提が「県立だから」というところを考え直さなければいけない。県立高校でも生徒を育てるプログラムを工夫することはできる可能性はある。そこに踏み込んでいかなければ、考え方は萎んでいく。そこを危惧している。</p> <p>⑩市立高校の存続の意義の再確認が必要。公立の女子専門校に疑問あり。</p> <p>⑪桜坂高校への入学者が定数に達していない状況は女子のみの受け入れには無理があり、男女協同参画の観点から女子校から男女共学校に見直しをし、さらに地域連携型中高一貫校にして特色を出した方が今後の高等学校の在り方を地元定着につなげられるのではないか。また、全国から生徒を募集することも試みの一つとして検討していただきたい。</p> <p>⑫なんでも男女平等といわれる中、多様性及び選択肢の幅を広げるうえで「女子高」を運営することは勇気があり大変素晴らしいことだと思う。市外から3割の生徒が学びに来ている中であって、効率化だけの廃止圧力に屈せず、ぜひ継続していただきたい。KPIでは地元に残る人数について問題にしているようであるが、行政が企業にどれだけのことを求め支援しているかのバロメーターであると考え、行政側を再点検する必要があると思う。石巻に働きたい・働ける職場がないことが問題だと思う。状況が許せば、スポーツに特化した教師（指導者）を招き入れることも検討していただきたい。</p>	<p>⑩⑪⑫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桜坂高校の進展については学校教育課だけで答えられるものではなく、教育委員会全体で考えるべきことでありますので御理解願います。 ・桜坂高校の令和4年度入学生の新教育課程では、女子が希望する多様な進路に対応するため、多くの選択科目を設定します。学励探究コースは看護系進学、保育系進学、地方公務員に向けた教育課程を編成します。キャリア探究コースでは地元での就職に向けた教育課程を編成し、両コースの特色を明確にしております。 ・令和の時代は「多様性の時代」であり、多様な価値観を持つ人々に多様な選択肢を提供することが求められております。今後も石巻市として「女子高」という選択肢を市民及び県民に提供し続けたいと考えております。 ・石巻地区（石巻市、東松島市）には公立高校が桜坂高校を含め9校あるが、市としては、県との連携の立場から、現在、市立中学校及び市立高校の連携型中高一貫教育は想定しておりません。 ・桜坂高校の進路状況（平成29年度から令和2年度まで4か年の平均値）は、卒業生の60%が進学、40%が就職しており、就職者の内定率は100%であるとともに、52.3%が石巻管内に就職している（令和2年度卒は54.4%）。この進路状況を、学校案内等を活用し、中学校に周知していきたい。 	
49	市外避難者の帰郷人数 (H27年度～H30年度累計)	1,260人						
50	ふるさと納税の寄附件数	30,000件/年	27,192件/年	○	○	B	<p>①国の返礼品への制約の中で魅力ある地場産品を生み出すのは厳しいと思うが、生産者と共同でふるさと納税用として生み出された製品に付加価値をつけなければ、原価で対応すれば相当なものでも返礼品として可能となるが、いかがか。</p>	<p>①寄附額増加を目指すには、魅力ある返礼品の追加が不可欠であることから、魅力ある返礼品の新規追加や既存返礼品への付加価値追加に向けて生産者と連携しながら取り組んでまいります。</p>
51	定住自立圏共生ビジョンの策定進捗率	10%	5%	×	○	C	<p>①実効性のあるビジョンを立案していただきたい。</p>	<p>①他市町と連携し、社会情勢等を踏まえた、実効性のあるビジョンの策定に努めます。</p>

基本目標 4 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援

No.	重要業績評価指標 (KPI)	R2実績	委員評価			委員質問・指摘事項等	質問・指摘事項に対する回答・対応	
			実績評価	改善点 工夫点	総合評価			
52	石巻市女性人材リスト登録者数 (R2年度末)	170人	140人	○	○	B	<p>①この6年、あまり数字が変わっていないが、登録者はほぼ変わっていないのか。また、「庁内グループウェア等を使い、女性人材リストを活用してもらえよう、各課に周知した」とあるが、周知した結果どうだったのか。</p> <p>②もし来年以降もこの指標を使うのであれば、登録者数よりも委員登用率や登用されている人数を指標にした方が良いのではないか。</p> <p>③男女共同参画は本当に必要なのか疑問。他市町村でもこのような男女共同参画の事業が未だにされているのか、女性人材リストの登録者数を指標として使っているのか。</p> <p>④女性の就業支援強化の指標が女性人材リストというのが疑問。団体の代表にはこういったリストの案内等来るが、企業側には来ない。就業支援と女性人材リストというのはミスマッチなのではないか。次の計画の時にはミスマッチは訂正すべき。</p> <p>⑤女性が働きやすい職場または出産・育児をしながら就労し続けるための施策について評価すべきと思うので、視点を変えていただきたい。</p> <p>⑥リスト作成の実績を重んじるばかりにリスト化が先行していると感じる。各種審議会などに女性の参加を増やし意見を述べてもらうことは急務であると思うが、選任された方がその次に来るリスト化を敬遠されてしまうとなかなか引き受け手がいなくなると考える。まずは多くの女性に委員を引き受けてもらえる環境・体制づくりをしてもらいたい。</p> <p>⑦情報収集と更新をもっと実行してほしいが、いかがか。</p>	<p>①令和2年度の内訳について、6名削除、7名新規登録の1名増でした。また、周知を図った結果、新規が何人というのは追いかけておりませんが、現在、人材リストに登録されている方のうち18名が、様々な委員会で活躍されています。</p> <p>②昨年度第4次石巻市男女共同参画基本計画に移行した際に、委員として何人登録になっているかという数値に変更しましたので、今後検討してまいります。</p> <p>③把握しておりません。</p> <p>④今後の参考にさせていただきます。</p> <p>⑤今後検討してまいります。</p> <p>⑥庁内各課に対し、人材リストに登録されている方々の登用と併せて人材リストに登録されていない女性も登用していただくように周知したいと考えております。また、固定の方々のみ委員として登用しないように周知していきたいと考えます。</p> <p>⑦毎年、女性人材リスト登録者に対し、登録内容を照会し変更があれば更新しているところです。現在の確認方法としましては、変更がある場合のみ報告していただくこととしているので、改めて女性人材リストに登録する意向も含めて確認することとしたいと思います。</p>
53	「育児や家事の役割」について「夫婦同様」との回答割合 (R2年度末)	70%以上	69%	○	○	B	<p>①家族制度が変わってきていて、同居しているしていないに関わらず、家族の役割が大事になってきている。嫁・姑の関わり方研修等、市で考えていることがあれば教えていただきたい。</p> <p>②離半島部だと高齢者の一人暮らしが多いが、研修等をきっかけに家族との関わりが生まれることで、一人暮らしを回避することにつながるという視点からも何か政策があればと思う。</p> <p>③夫婦共働きや子育て支援をキーワードにするならば、夫婦になる若い男女を支える家族の中の親も含めた研修システムも御検討いただきたい。新しい家族で支える研修会として特色ある内容になると考える。</p> <p>④片親世帯に配慮しつつも保育所や幼稚園の保護者会の協力を得て実際に子育てしている人達を対象に実施すべきでは。</p>	<p>①② (事務局回答) 家族の在り方は昔とは大きく変わってきております。Uターンをする場合でも、妻の実家の地域に戻る場合が多いと考えます。そして同居はせず、適度な距離感をとることが一般的になってきております。その細かいところまで踏み込むことは厳しいですが、子どもを育てるために両親だけではなく家族全体での連携、地域との連携は課題だと考えます。</p> <p>③今後検討してまいります。</p> <p>④研修会やセミナーの対象者について、今後検討いたします。</p>

重要業績評価指標(KPI)毎の委員評価等一覧

No.	重要業績評価指標 (KPI)	R2実績	委員評価			委員質問・指摘事項等	質問・指摘事項に対する回答・対応	
			実績評価	改善点 工夫点	総合評価			
54	「女性のチカラを活かす企業」認定数	30件	31件	○	○	B	①この会議の委員の席を見ると女性が多い。市の説明担当者席を見ると男性が多い。この状況を市はどのように捉えているのか。	①（事務局回答）こういった会議での委員等への積極的な女性の参加は全庁的に進めております。市の管理職についてはまだ女性は少ないですが、人事課では次期幹部候補の女性の育成は目標数値を決めて計画に位置づけております。 （担当課回答）令和2年度の市民意識調査について、女性が働くことについてどう考えるかという質問があり、約8割の方が賛成しております。一方で、社会に出たときに男性女性どちらが優遇されているかという質問では、約6割が男性となっております。家庭内となると、同等の数字に近づいております。 委員の方々については市で女性の登用率を上げようとしておりますが、一般企業となるとまだ差があり、女性の社会進出について意識が醸成されていないと感じます。
							②パワハラ・セクハラ等をなくし女性が働きやすい職場環境を整備することをすべての企業に要請していただきたい。	②庁内関係課と協議してまいります。
55	心とからだのトータルケア参加者数	500人/年	311人/年	○	○	B	○内容、実施内容ともにとっても良い。参加者がコロナ禍により制限されていると思うが、自信をもって、評価はもっと上げて良いと思う。	
56	親子教室・遊びの広場の参加親子数	20,000組/年	8,032組/年	○	○	B	①コロナ禍の中でそれなりの成果は出ていると思うが、政策として、指導者のスキルアップ・指導者の増員を図り、子育て支援の充実により、移住を考えている人にも受け入れられるよう体制を作り上げていただきたい。 ○内容、実施内容ともにとっても良い。参加者がコロナ禍により制限されていると思うが、自信をもって、評価はもっと上げて良いと思う。	①子育て支援の担い手となる人材育成研修を市主催で実施しておりますが、今後、子育て支援の充実、支援員の資質向上を図るための現職の支援員に対するスキルアップ研修等について検討してまいります。 また、子育て親子が身近に感じられる支援センターとして、周知方法の充実を図りたいと考えます。

重要業績評価指標(KPI)毎の委員評価等一覧

No.	重要業績評価指標 (KPI)	R2実績	委員評価			委員質問・指摘事項等	質問・指摘事項に対する回答・対応	
			実績評価	改善点 工夫点	総合評価			
57	保育施設待機児童数	0人	8人	○	○	B	<p>①民間の子ども園設置の働きかけはないのか。</p> <p>②待機児童を減少させる施策としての保育士就労支援事業については、ある程度効果があったとは思いますが、就労3年目以降の状況も重要と考える。幼少期の質の高い教育は、受けた本人だけでなく社会に対しても効果が大きい事が海外の研究結果で報告がされていることから、質の高い幼児教育（保育）が重要で、質を高めるためには経験豊富な人材が必要であり、結婚・出産等による保育士等の離職状況も把握し、離職原因の調査や、離職につながらないような施策を打つ必要があると考える。</p> <p>この他、公立保育所においては、保育士不足により一時保育・延長保育の一部休止や受け入れ制限を行っており、年度途中での産休代替え保育士については確保が困難な状況であるが、公立保育所に対する保育士不足を解消する具体的施策（妙案）は無い。</p> <p>一定時間中（保育所開所時間中）に一定数のニーズが発生する保育業務については、事務作業や建設作業などのように、時間の延長で解消できるものではない事から、このような状況を踏まえて保育士数の確保を行わないと、数だけ用意する保育になりかねない。</p> <p>保護者や就労希望者にとって、魅力的な職場としても存在できるような施策を望む。</p> <p>○出来る限り待機児童をなくしてほしい。</p>	<p>①平成30年3月に策定した公立幼稚園、保育所、こども園再編計画に基づき、公立保育施設等の統廃合を行い、民間誘致により、こども園を設置することとなるため、準備が整い次第、公募にて事業者を選定する予定です。</p> <p>②保育士就職支援事業補助金を活用した保育士の3年目以降の就労状況の調査につきましては、本事業の効果や検証をする上で必要でありますので、実施したいと考えております。</p> <p>また、保育士の離職の状況の把握等につきましては、私立認可保育施設に就労している保育士の離職を把握する事に課題がありますが、調査方法等を検討してまいります。</p> <p>公立保育所の保育士確保につきましては、宮城県で実施している保育士・保育所支援センターやハローワークに協力を仰ぎ、潜在保育士の掘り起こしを行うほか、市報やホームページ、新聞広告も活用し、募集しているところであります。</p> <p>さらにSNSを活用した募集広告の検討や保育士養成施設への訪問等も行い、保育士確保に努めてまいります。</p> <p>魅力的な職場としても存在できるような施策を望むにつきましては、職場の人間関係や仕事のやりがい、保育の質の向上など保護者や就労希望者が、児童を預けたい・就労したいと思えるような施設となるよう現場と協力しながら対応策を検討してまいりますので御理解賜りますようお願いいたします。</p>
58	放課後児童クラブ待機児童数	0人	36人	○	○	B	<p>①定住人口増加の一助としても重要テーマであると思うが、どのように考えているか。</p> <p>②空き教室が増えている一方で、建設場所に限界がきているのではないのか。学校側が空き教室ではないと言っているが、統廃合が行われている現状や、建設費(税金)を考える必要がある。受け入れなければならない対象児童枠が拡大されてきていることなどから省庁の壁を越えて空き教室の活用を進めるべきと考える。民活は悪いことばかりではないと思うが児童数が減少していく中で営業行為として続くのか検討されたい。新たに参入している企業が子供の命を預かることを営利目的でなされていることに疑問を感じる。</p> <p>③地域自治システムの推進と一緒に地域の役割りの一つとして解決方法を地域と一緒に模索した方が費用も小さく早く解決できる可能性があると思うが、いかがか。</p>	<p>①安心・安全に子どもを1産み育てられる環境を整えることは、定住人口の増加策の1つであり、放課後児童クラブは、就労しながら子育てを行う世帯への支援として、重要な役割を担っているものだと考えております。</p> <p>②空き教室の利用に関しては、新たに放課後児童クラブを開設する際、まず初めに学校や教育委員会と協議し、利用できる場合は利用させていただいているところです。学校施設内での開設については、学校の教室活用の方針等で活用させていただくのに難しいケースもありますが、今後も学校や教育委員会と連携を図りながら実施してまいります。</p> <p>民間事業者の活用に関しては、地元の子育て支援団体等に対して、業務委託を行う予定ですが、民間事業者が安定的に放課後児童クラブ事業を実施するために必要な対価を得ることは必要であると考えます。</p> <p>また、民間への委託を行うことで、民間の特色を活かした学習支援や体験学習等の子どもたちへの支援のほか、開設時間の延長や土曜日開設等、保護者のニーズに答えられる運営が可能となると考えております。</p> <p>③放課後児童クラブの民間委託を検討する上で、他自治体の例を見ると、中には地域の保護者等が組織した団体に事業を委託している事例も見受けられますが、配置する職員に必要な資格や、施設の要件など、放課後児童クラブを実施するために調整すべき内容が多々ありますので、事業実施についての研究を行いたいと考えております。</p>

重要業績評価指標(KPI)毎の委員評価等一覧

No.	重要業績評価指標 (KPI)	R2実績	委員評価			委員質問・指摘事項等	質問・指摘事項に対する回答・対応	
			実績評価	改善点 工夫点	総合評価			
59	授業が分かったと感じている児童生徒の割合	90%	91.5%	○	○	B	<p>①宮城県は不登校率が全国的にも高い。民間で不登校支援のネットワークの動きはあるが、学校に行けていない子どもたちの声が聞こえてこない。このアンケートはそういった子どもに対しても実施しているのか。</p> <p>②授業が分かるというのは、教師の指導によって分かるのかということ、違うところもあると思う。特に今の中学生の通塾率は高い。塾に行き勉強しているから授業が分かるのであれば、教師の指導力の問題だけではなく。経済格差との関連の課題があると感じる。通塾率の情報はありますか。</p> <p>③親の就労状況等により、塾、自宅、児童クラブ等様々な場所で予習・復習をしているのが子ども達の現状かと思うので、見守っていかなければならないと思う。</p> <p>④令和2年度の実績値は、どのような計算で91.5%となっているのか。計算すると91.5%にならない。実際にはどういった計算方法をしているのか。二つの違う集団の値をどのように評価しているのか。</p> <p>⑤この指標で、子どもに夢を持たせ、未来を生きる力を評価してAだと言い切っているのか。</p> <p>⑥学力は、宮城県は全国的に低く、石巻はさらに低い。このような中で、先生方がもっと積極的に、魅力ある授業とはどういうものなのか知らないといけない。高い評価を付けていても、実際の学力の数値と乖離がある。そこをリカバリーするためにはどうするかという視点で見てもらいたい。</p> <p>⑦若い先生が他のクラスの授業を見る機会を作ってあげる等、管理職が具体的な対策を行っていないのではないかと。教育委員会にもっと現場に行き実態を見てほしい。</p> <p>⑧学力向上に真剣に取り組むべきと感じるが、学力向上のための対策をどのように考えているのか。</p> <p>⑨KPI「授業が分かったと感じている児童生徒の割合」で評価していますが、不登校の出現率や学力の定着等を踏まえると、個人内評価であるため、教員や保護者に対して質問しても良いのではないかと。</p>	<p>①不登校は石巻の課題の一つであります。不登校の様態も様々で、長期欠席、断続的な登校、別室登校、けやき教室への登校等がございます。長期で休んでいる生徒には担任が定期的な家庭訪問の中で、プレッシャーにならないように声がけはしております。その結果の詳しい検証まではしておりませんので、今年度はその部分も確かめていきながら実施してまいります。</p> <p>②③学力と塾に通っていることは関係があると考えます。塾に通っているか、家庭でどれくらい学習しているかは、アンケートをとっているもので分析してまいります。全国学力学習状況調査で見ると、石巻市の家庭学習時間は全国平均より低くなっております。学校で学んだことの定着には家庭学習は必要であることから、家庭とも連携をとりながら、学力の向上を目指してまいります。</p> <p>④KPI評価シートの改善・効果を高めるための工夫等欄で小学校6年生及び中学校2年生の割合が記載されておりますが、令和2年度の実績値は、小学3年生から中学2年生までの全児童生徒対象に実施している、学校生活についてのアンケートの「毎日の授業は、よく分かりますか」という質問項目について、回答した全児童生徒のうち、分かる、だいたい分かったと肯定的に回答した児童生徒の割合を算出したものです。</p> <p>⑤この指標は、様々な視点がある中で設定した指標の一つであり、子どもに夢を持たせ、未来を生きる力がAであるとして評価しているものではございません。当該KPIは、児童生徒が「授業が分かった」と感じることも児童生徒の未来を生きる力につながるものであるという考えから設定したものですので御理解願います。</p> <p>⑥授業が分かるということと、問題が解けるということには乖離がございます。子どもの学力向上のためにすべきことは、教員の指導力向上、授業力の向上、学習指導力の向上であります。授業の力を上げるには研修が必要であるが、新規採用時、5年、10年経過した教員にそれぞれ研修がございます。また、それらの法定の研修以外にも、授業の校内研究というものが、各学校で研究テーマにあった授業研究を行っております。研修を繰り返しながら、教員の指導力向上に努めてまいります。</p> <p>⑦学校教育課でも指導主事が各学校を訪問し、実際に授業を見て、その後の検討会に参加しております。私自身も市内すべての市立の学校を訪問いたしました。その際、校長先生と授業の内容の良い点や改善点を話しております。御指摘のあったとおり、実際に見なければ話ができないので、できる限り足を動かして行くことを大切にしながら、指導を進めてまいります。</p> <p>⑧教員の指導力を向上させるための研修会の開催、市立学校教職員スタンダードの推進、サイエンスラボ事業の推進、学校訪問指導の実施、市教科等指導員の活用、GIGAスクール構想によるICT活用、総合教育センター長期研修員の活用、県教委の学力向上指導員の派遣を活用した授業改善、全国学力学習状況調査等の分析と考察、学力向上マネジメント支援事業の推進、異校種・学校間の連携、学習習慣の形成のための家庭用リーフレットの作成、放課後及び長期休業中の学習支援を行い学力向上策に取り組んでまいります。</p> <p>⑨年度末等に実施する「学校評価アンケート」では、「お子さんは、授業を分かるといっている」等の項目を設定しております。これを評価として示すことは可能であると考えます。</p>

重要業績評価指標(KPI)毎の委員評価等一覧

No.	重要業績評価指標 (KPI)	R2実績	委員評価			委員質問・指摘事項等	質問・指摘事項に対する回答・対応	
			実績評価	改善点 工夫点	総合評価			
						<p>⑩調査結果を示すときは、きちんと根拠となる数字も示すべきである。あまりにも不親切で無駄な質問がなされていた。調査を否定するものではないが、どこに金をかけているのか疑問である。理解度は日常行なわれている授業での試験結果に出てくると思うが、事業ごとの事業費を明らかにし、視点を再検討していただきたい。</p> <p>⑪子供たちの未来を生きる力の醸成はとても重要な事業である。こどもの未来づくり事業、国際理解教育推進事業、サイエンスラボ事業、せっかくそれらの事業があるのだから、それら事業をそれぞれしっかり教育に専門性のある方が評価検証する方がいいと思うが、なぜ、事業の成果指標をこの59, 60に示されているKPIにしているのか。子供たちの未来を生きる力とこのKPIは紐づいていないと思う。</p>	<p>⑩小学3年生から中学2年生までの児童生徒に実施している、学校生活についてのアンケートの「毎日の授業は、よく分かりますか」という質問項目について、単純に学年ごとの割合を足して割ったものではなく、回答した全児童生徒のうち、分かる、だいたい分かる、肯定的に回答した児童生徒の割合を算出したものです。説明を付記せず、失礼いたしました。事業費については、学力向上支援事業、学校わくわくプランの事業費に含まれております。</p> <p>⑪今年度から実施している、学校わくわくプラン事業においても、子供たちの将来にわたる「主体的に生きる力」の醸成に力を入れております。子供たちの持つ力の中には「学力」も重要な力の一つと考えております。児童生徒の未来を生きる力の醸成には様々な視点がありますが、当該KPIは、児童生徒が「授業が分かった」と感じることも児童生徒の未来を生きる力につながるものであるという考えから設定したものですので御理解願います。</p>	
60	学校が楽しいと感じている児童生徒の割合	85%	82.5%	○	○	B	<p>①2020年度から、文科省で「キャリアパスポート」を小・中・高で活用することになっていますが、例示の中にも質問事項があり、小・中・高で連続性を持たせて活用することが必要ではないでしょうか。</p> <p>②子供たちが学校が楽しいと思えるようにするために教員の目線が子供たちの高さで子供に向くよう環境を整備されたい。事業に見合った副読本の活用も検討していただきたい。</p> <p>③子供たちの未来を生きる力の醸成はとても重要な事業である。こどもの未来づくり事業、国際理解教育推進事業、サイエンスラボ事業、せっかくそれらの事業があるのだから、それら事業をそれぞれしっかり教育に専門性のある方が評価検証する方がいいと思うが、なぜ、事業の成果指標をこの59, 60に示されているKPIにしているのか。子供たちの未来を生きる力とこのKPIは紐づいていないと思う。</p> <p>○コロナ禍の中、行事等制限されていると思うが、現場の先生方の指導の工夫等、学校が楽しいと感じてくれる生徒が多く安心した。</p>	<p>①「キャリアパスポート」については、現在市教委として内容を検討しております。その中で小中高の連続性を持たせられるような内容についても検討してまいります。</p> <p>②「学校わくわくプラン」を推進するにあたり、子供たちが主体的に学校の活動へ取り組めるように場面を設定しながら、推進しているところです。学校わくわくプラン概要図を学校から家庭への配布をすることを考え準備しております。</p> <p>③今年度から実施している、学校わくわくプラン事業においても、子供たちの将来にわたる「主体的に生きる力」の醸成に力を入れております。子供たちの持つ力の中には「学力」も重要な力の一つと考えております。児童生徒の未来を生きる力の醸成には様々な視点がありますが、当該KPIは、児童生徒が「学校が楽しい」と感じることも児童生徒の未来を生きる力につながるものであるという考えから設定したものですので御理解願います。</p>
61	スクールカウンセラーの配置率	100%	100%	◎	○	A	<p>①スクールカウンセラーが配置されて、問題行動の未然防止の役割を果たしたかどうか、配置率だけでは分からない面があります。さらに、一人のスクールカウンセラーが当該校に週何回訪問しているのか分かったと良い。</p> <p>②全ての学校にスクールカウンセラーを配置したとあるが、児童数30人でも300人でも一人では対応できないと思う。大規模校へは複数配置してほしい。問題を起こしそうな子供たちに事前に寄り添うためにも、学校生活が楽しくなるようにするためにも、カウンセラーの充実・スキルアップとソーシャルワーカーの増員を進めていただきたい。</p>	<p>①スクールカウンセラーの勤務日については、学校とカウンセラーが相談し、各校の実態に合わせ、効果的にカウンセリングや相談活動に当たるようにしています。また、突発的な事案が発生した際には、東部教育事務所配置されている事務所カウンセラーの活用もしております。</p> <p>②カウンセラーの配置については、県と連携し、できる限り効果的な配置をしているところです。また、スクールソーシャルワーカーの配置につきましては、県内で一番多い人数を配置しており、その中で、効果的に活動できるように定期的に連絡会、情報交換会を開き、検討しながらケース対応しているところです。</p>